

自民党 衆議院議員

活動報告書

木原誠二

せいじ便り

69号

一歩一歩とともに

外務大臣政務官を無事退任

昨年9月30日に外務大臣政務官を拝命し、9月4日に退任するまで、1年に渡り務めさせていただきました。国際社会における日本の存在感を高めるとの安倍外交・岸田外交のもとで、一生懸命汗をかかせていただきました。その中で、私としては特に以下の3つの成果を上げることができたと自負しております。

1 自ら主導したいくつかの大きな試み

ODA大綱の見直し、などいくつかの大きな課題への取り組み

ODAは日本の平和外交・海外協力の根幹で、長く各国から評価をいただいていた事業です。1992年にできたODA大綱は、そのODAがどのようなべきかを定めた、いわばODAの憲法です。本年は我が国がODA供与を始めて60年目の節目の年であり、ODA大綱についても11年ぶりに見直し、より日本の発信を高めるよう改正すべきと、岸田外務大臣に提案・了解をいただき、作業を主導させていただきました。12月に



1年間の外務大臣政務官としての任務を終えて、外務大臣、外務副大臣とともに

は、新たなODA大綱を策定できる運びとなったことは、政治家冥利に尽きます。その他、科学技術外交の促進もスタートすることができました。

2 政治家として史上初の仕事・立場を経験

政治家として史上初となる仕事を幾つか経験をさせていただきました。1月には、モンゴルとの経済連携(EPA)協議にあたり、政治家として初めて首席交渉官を拝命し、長時間に及ぶ交渉を全て英語で行い、夏には実質合意にこぎつけることができました。

また、3月には、世界中から閣僚、政府高官、学者などが集まる「ブラッセルフォーラム」にパネリストとして参加しました。ウクライナ問題や、石油・原発などのエネルギー問題について、英語版「朝まで生テレビ」状態、英語で各国のパネリストと激論をしました。



日・モンゴル経済連携協定(EPA)締結式にて

3 モンゴルやブータンの首脳をはじめ、各国リーダーとの個人的関係の構築

1年間で訪れた国はのべ11カ国、約100人の要人と会談を行い、その中でもモンゴルやブータンの首脳とは、個人的信頼関係を構築することができました。



国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)にてスピーチ

他方で、アジア地域担当だったにもかかわらず中国・韓国との関係改善が果たせなかったことは心残りです。ただ、関係改善の兆しが出てきていますので、引き続き議員として汗をかいてまいります。とりわけ来年は戦後70周年、日韓外交正常化50周

年の節目の年でもあります。平和国家としての日本の戦後の歩みを堅持しながら、アジアや世界の平和と安定のため日本外交が貢献できるよう働いてまいります。

なお、日本外交の大きな課題として感じたことは、発信力の弱さです。日本の主張・立場を国際公用語である英語で世界に発信していく努力が、今こそ求められます。その意味で、来年度予算に向けて、日本の発信拠点となる「ジャパンハウス」を英国(ロンドン)や米国(ロサンゼルス)を外務省で努力しているところであり、サポートしていきたいと考えています。

在任中は様々なご意見やご指導を頂戴いただきました。心より御礼申し上げます。

第187臨時国会が開会しました、国会対策副委員長に就任しました

9月30日、63日間の日程で臨時国会が開会しました。

私は、外務大臣政務官を退任し、自民党の国会対策副委員長と議院運営委員会の理事を拝命しました。国会対策副委員長は、与党と野党の間で法案の中身や審議日程を調整する、いわば裏方の作業で

「国会の縁の下の力持ち」とも言われます。議院運営委員会はその中でも、衆議院の議事運営全般、とりわけ本会議の調整を行う重要な立場です。今国会は「地方創生」と「女性の活躍」が2本柱となりますが、中身の濃い充実した国会審議となるようしっかりと努めてまいります。

今こそ行革

国会対策副委員長としての議会での仕事に加え、党においては行政改革推進本部の事務局長、また規制改革検討委員会の事務局長、金融調査会事務局長、そして税制調査会幹事を拝命いたしました。

アベノミクスの効果もあり、税収増を通じて財政状況は改善の兆しを見せております。しかしながら、GDP比200%に上る債務残高や、毎年の財政赤字は依然として大きく残されたままです。歳入の増加は良いニュースですが、より大切なことは襟を正して無駄をなくし、歳出をできる限りスリム化すること、そして規制改革を通じて経済を活性化することです。この支出改革、行革努力に終わりはなく不断に続けていかなくてはなりません。

その意味で、河野太郎行革本部長のもと、無駄撲滅プロジェクトチームや、行政のスリム化(内閣府内閣官房のスリム化)に徹底的に取り組んで参ります。合わせて、国の規制改革にも、後藤田正純委員長のもとで切り込んでいくこととなります。

改革政党・自民党として聖域なく改革を進めるため、その先頭に立つてまいりますので、皆様から様々なご意見やご提案を頂戴できれば幸いです。



PROFILE

年金・医療・介護、障害者福祉、行財財政改革、公務員制度改革、都市農業など幅広く活動を展開。1970年6月東京生まれ。私立武蔵高校、東京大学法学部、ロンドン大学LSE修士卒業。平成5年大蔵省入省。平成17年9月衆議院初当選。著書に「英国大蔵省から見た日本」(文春新書)

地元事務所

〒189-0013 東村山市栄町2-22-13 松岡ビル2F
TEL 042-392-4105 FAX 042-392-4106

国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館915号室
TEL 03-3508-7169 FAX 03-3508-3719

Facebook <https://www.facebook.com/seiji.kihara>

twitter ID http://twitter.com/kihara_seiji

<http://www.kiharaseiji.com>

発行：木原誠二後援会 東京都東村山市栄町2-22-13 松岡ビル2階